

レビュー研究用フォーム		データ記入欄		
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫		
	タイプ			
タイトル情報	論文の英語タイトル	Improved survival after resection of pulmonary metastases from malignant melanoma.		
	論文の日本語タイトル			
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)		
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ17-7		
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)		
	Pubmed ID			
	医中誌 ID			
	雑誌名	Ann Thorac Surg.		
	雑誌 ID			
	巻	52		
	号	2		
	ページ	204-10		
	ISSN ナンバー	0003-4975 (Print)		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)		
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)		
	発行年月	1991		
	著者情報		氏名	所属機関
		筆頭著者	Gorenstein LA,	Department of Thoracic Surgery, University of Texas M.D. Anderson Cancer Center, Houston
その他著者 1		Putnam JB,		
その他著者 2		Natarajan G,		
その他著者 3		Balch CA,		
その他著者 4		Roth JA.		
その他著者 5				
その他著者 6				
その他著者 7				
その他著者 8				
その他著者 9				
その他著者 10				

レビュー研究の6項目	目的	肺遠隔転移切除の価値を明らかにする
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	56 例の肺転移切除患者 リンパ節転移なしで肺転移のみの生存期間中央値 30 月、その他の症例の生存期間中央値 16 月。 肺転移が最初の遠隔転移である場合の生存期間中央値 30 月、その他の症例の生存期間中央値 17 月。
	結論	単発の肺遠隔転移病巣の切除は有益である。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	宇原 久
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 他の臓器の転移がなく、単発の肺転移巣であれば長い生存期間が狙えるかもしれないことを示した論文である。ただ、このような条件の患者の未治療での自然史が不明であるので、切除の有益性については不確定な部分が残る。